

【府立学校の光熱費2億円問題】

池下が府議会で指摘 ⇒ 1.7億円が予算に反映

平成25年10月、大阪府議会において、池下が指摘した府立高校および支援学校の光熱費値上げ問題。福島第一原発の影響により関西電力も光熱費を値上げしたため、高槻・島本の府立高校を含めた1校あたり年間百数十万円、府下全域で約2億円もの光熱費が増え、予算を圧迫していた。

池下は限られた学校予算の中、教育の質を落とすとしてまで光熱費の値上げ分を支払う状況に対し、しっかりと予算編成をするよう議会で指摘。これに対し、本年2～3月の定例府議会において約1.7億円の予算が計上されることになった。

無駄なお金は削減しつつ、必要な予算はしっかりと計上する。今後も地域の子ども達への教育に対し、バックアップしていく。



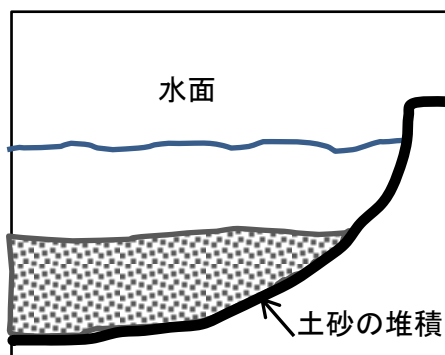
府議会本会議場にて諸問題について訴えた

【高槻市の芥川土砂問題】

安全・安心のための浚せつが実現

高槻の市街地を流れる芥川、近年の想像を上回る大雨が急激に土砂を堆積させてきた。このままでは今後、土砂の堆積が進み、堤防の破壊にも繋がる。そうすれば高槻中心部にも被害が拡大する恐れがある。そのため池下は大阪府に調査を依頼した。

河川の容量に対して土砂が占めるわりあい(河積阻害率)が20%を超えれば浚せつ(水底土砂をさらって取り除く作業)が必要であり、芥川はこれ



河川断面図

に該当し、本年3月からに工事が開始されている。

またこの場所は毎年5月に行われる「こいのぼりフェスタ」の開催場所でもある。地域の安心安全だけでなく、地域活性化の一助になればと考える。

近年は100年に1度と呼ばれる大雨が多発する。河川の土砂の堆積状況を調べる期間もこれまでは5年に1度のペースであった。今後は想像を超えるペースで土砂の堆積が予想されるため、他の河川についても調査期間の短縮を要望していく。

大阪府発展のため『統合型リゾート(IR)』誘致を促進

観光振興を目指し、ホテルにカジノや商業施設を組み合わせる統合型リゾート(IR)が注目を集めている。

池下は雇用や経済効果の高いIRの誘致にむけ、府議団の政務調査役員(政務調査と政策立案)として活動してきた。今国会で審議されるIR推進法が可決されれば、全国で誘致合戦が過熱は必至。

これまで池下は大学教授などの有識者や経済人などと意見交換。大阪だけでも経済効果は数千億円、大阪の成長戦略の一手として期待されるとともに、大阪での立地は大阪市此花区の夢洲が候補になっている。



A・Plan

統合型リゾートのイメージ図

また経済効果から得られる税金により、様々な福祉施策、地域活性化に向けての対策がうてるようになることも重要だ。

一方、一般的な懸念はギャンブル依存性や犯罪の増加など。しかし、既にIRのあるシンガポールではカジノはIR面積のわずか5%。そして、しっかりと法整備をすればリスク軽減は可能という報告もある。今後のIR誘致にむけ、「大阪府市立地準備会」を設置。さらに府民理解にむけ、シンポジウムやTV報道なども利用するよう池下は議会で提言した。



国会にて、小沢鋭仁、桜内文城、松浪ケンタ衆議院議員とIRについて意見交換

カジノを含めた統合型リゾート(IR=Integrated Resort)とは・・・

国際会議場・展示施設などのMICE施設、ホテル、商業施設(ショッピングモール)、レストラン、劇場・映画館、アミューズメントパーク、スポーツ施設、温泉施設などにカジノを含んだ大人から子どもまで楽しめる複合観光施設のこと。

大阪府議会議員 池下 卓のプロフィール



【経歴】

1975年高槻市山手町で父・節夫、母・友子の次男として生まれる。
高槻市立磐手小学校
高槻市立第八中学校
府立高槻北高校 卒業
龍谷大学大学院 修了。

専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。大阪府議会議員(1期目)
現在は、高槻市古曽部町に在住。

【役職】

教育常任委員 (平成23年度)
商工労働常任委員(平成24年度)
決算特別委員 (平成24年度)
府民文化常任委員(平成25年度)
政務調査役員 (平成25年度)など

【その他】

高槻市消防団 磐手分団山手班(社)高槻青年会議所、商工会議所青年部に所属など